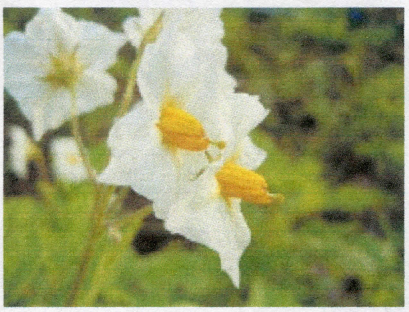
幻の芋・落合芋（山梨県伝統野菜）

山梨県の代表的な伝統野菜である「落合芋」は、詳しい来歴は不詳で武田時代に旧塩山市（現甲州市）の落合地区から丹波山村に導入されたという口碑が残っている馬鈴薯です。

馬鈴薯の原産地はアンデス高原で、わが国への伝来は、1600 年前後と伝えられていますが、この時の芋はほとんど廃れてしまったといわれ、本格的な馬鈴薯の栽培は明治に入ってからというのが定説となっています。
現在、市場に多く出回っている男爵は明治に、メークインは大正になって導入された品種です。

これ以前の芋は稀少品種といって良く、山梨県に古くから伝わる「落合芋」も希少品種のひとつで、収量が少ない為、昭和年代にメークインや男爵にとって代わられ、一時期は消失したと考えられていました。

しかし、一軒だけ長らく種を守ってきた農家があり、「落合芋」は、命脈を繋ぐことができたという経緯があります。



落合芋の花

落合芋

落合芋の故郷・旧塩山市は、山本ファームのある地域です。

十余年前、地元 NHK の番組でこの「落合芋」が特集されまして、山本ファーム(有)は先代社長の慧眼のもと、丹波山村の生産者の方に礼を尽くして種芋を譲り受けました。

以来この希少価値の高い馬鈴薯を大切に守り育てて参りました。

落合芋は、「甘味・コク」共に濃く、ジャガ芋とは思えないほど美味です。
どうぞ、この幻の芋といえる「落合芋」をご笑味下さいませ。
よろしくお願い申し上げます。

農業生産法人　山本ファーム(有)
山梨県甲州市塩山千野 4221
ＦＡＸ：0553-32-1788